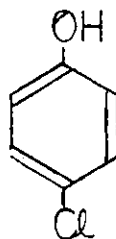


モノクロルフェノール (P-クロルフェノール) の分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和53年5月8日～昭和53年7月19日
2. 試料名 モノクロルフェノール (P-クロルフェノール)  
(試料 No. X-361C)

分子式  $C_6H_5OCl$

構造式



4字加入 性状 融点: 41℃, 溶解度: アルコール, <sup>エーテル</sup>クロロホルム等に易溶  
沸点: 220℃

(XXXXXXXXXX 使用)

3. 試験方法及び条件

環保業第 5 号 }  
薬 発 第 615 号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49 基局第 392 号 }

試料濃度: 100ppm 汚泥濃度: 30ppm 試験期間: 2 週間

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

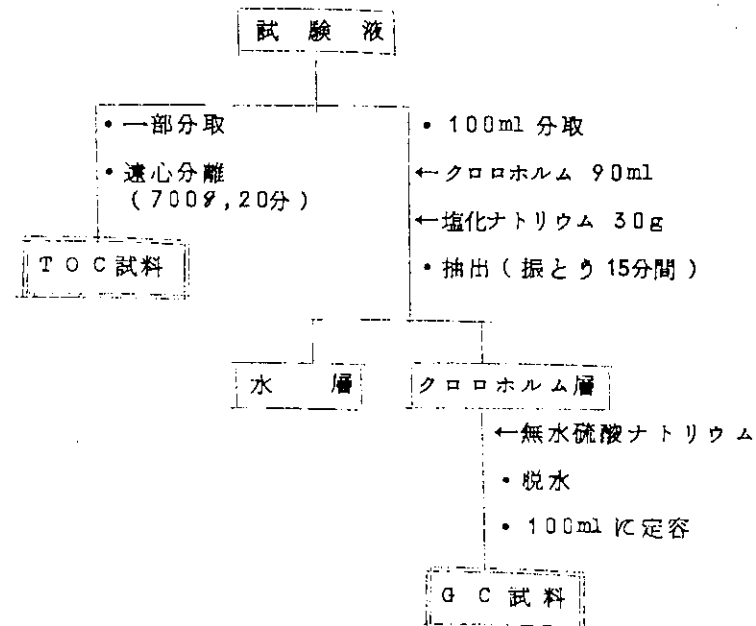
3.1 の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計, ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC 計)

流速 TC 回路 200ml/min

温度 TC 炉 900℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 20%PEG20M/クロモソルブWAW + 2% $H_3PO_4$

ガラスカラム 2mmφ×1m

カラム温度 160℃

#### 4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	2.0	1	—
TOC計による結果	0.7	2	1
GCによる結果	1.7	3	2

#### 5. 備 考

##### 試料の採取

3000 ppm 水溶液 10 ml を、水及び基礎培養液 290 ml にそれぞれ加えて試験液とした。

##### クーロメーターへのセット状況

	状 況	pH
仕込時	——	水 系 6.5 汚泥系 7.0
途 中	——	
終了時	汚泥系では汚泥が黒ずみ変色していた。	水 系 6.5 汚泥系 6.9

以 上